



## 東北地方の課題解決挑戦の1年へ。 売上高1,100億円を達成。第3期は359店舗へ 拡大予定。更なる成長を目指します。

代表取締役社長 西郷辰弘



株主の皆様には、平素より当社経営へのご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第2期(2020年3月1日から2021年2月28日まで)の事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

第2期におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から不確定要素が多い経営環境ではありましたが、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期を上回り、過去最高を更新しました。また出店エリアも拡大し、総店舗数は321店舗となりました。

施策面では、引き続きローコストオペレーションとESLP(Every Same Low Price)を推進するとともに、更なるキャッシュレス決済の利用拡大による新規顧客の増加や売上拡大に取り組んでまいりました。また「店頭での健康チェックとそのデータ活用」の実現に向けた取り組み、他社との差別化戦略も推し進めています。

第3期の売上高見通しは1,208億円と増収増益の

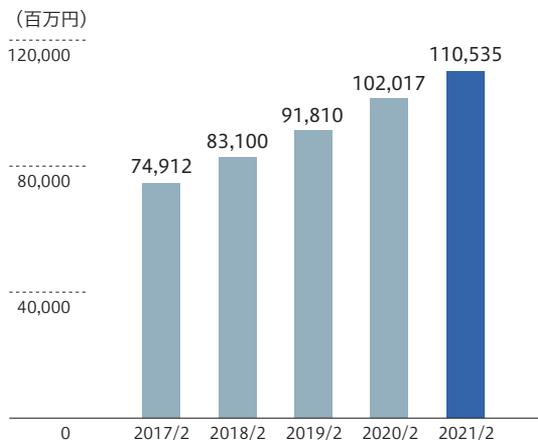
継続を目指しています。また40店舗の新規出店を計画しており、東北地域でのドミナント戦略をより推進していく方針です。

コロナ禍は未だ終息が見えず、先行きが不透明な状況が続きますが、このような中でこそ、当社の使命である「地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する」ことを全うし、お客様と従業員の安全も考慮しながら営業を継続する努力をしております。

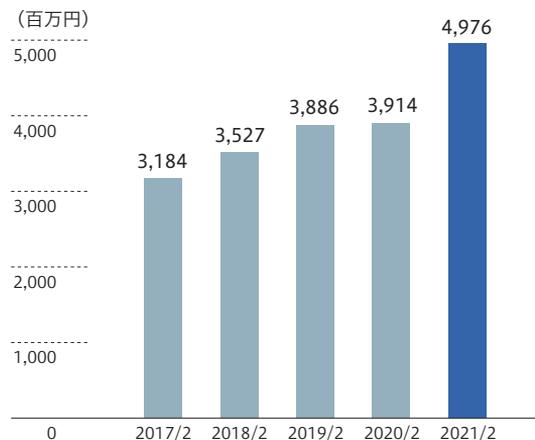
私たちが店舗展開している東北地方は、「人口減少」や「少子高齢化」など大きな課題に直面している、世界でも稀に見る「課題先進地域」であり、地域のお客様の健康へのニーズは急速に高まっています。東北の健康における課題を解決することが未来の日本と世界に役立つと信じて、私たちは今後もチャレンジしていくつもりです。

今後もより一層の成長と継続的な企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

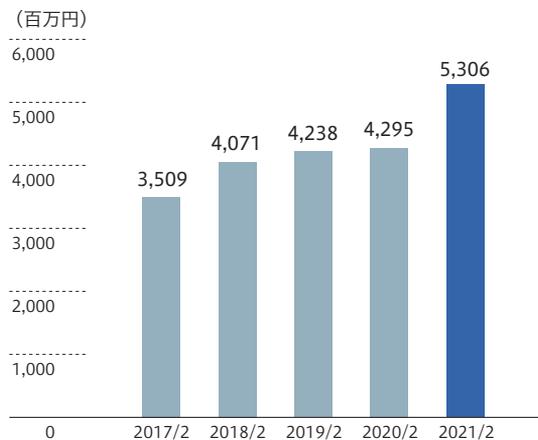
## 売上高



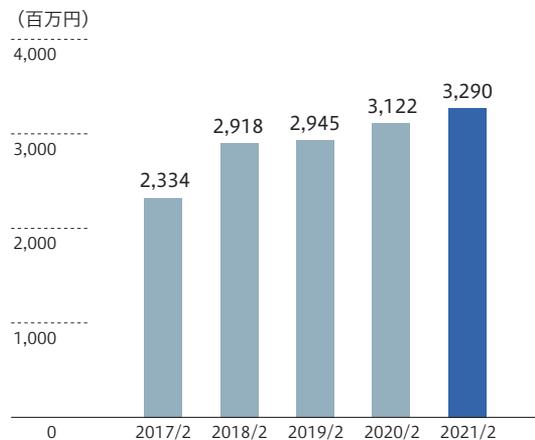
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益／親会社株主に帰属する当期純利益



● 2018年2月期以前は株式会社薬王堂単体の数値、2019年2月期以降は連結決算の数値を記載しております。

● 当社は、2019年9月2日に単独株式移転により株式会社薬王堂の完全親会社として設立され、2020年2月期連結会計年度(2019年3月1日から2020年2月29日まで)の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社薬王堂の連結財務諸表を引き継いで作成しております。

## 薬王堂のドミナント戦略

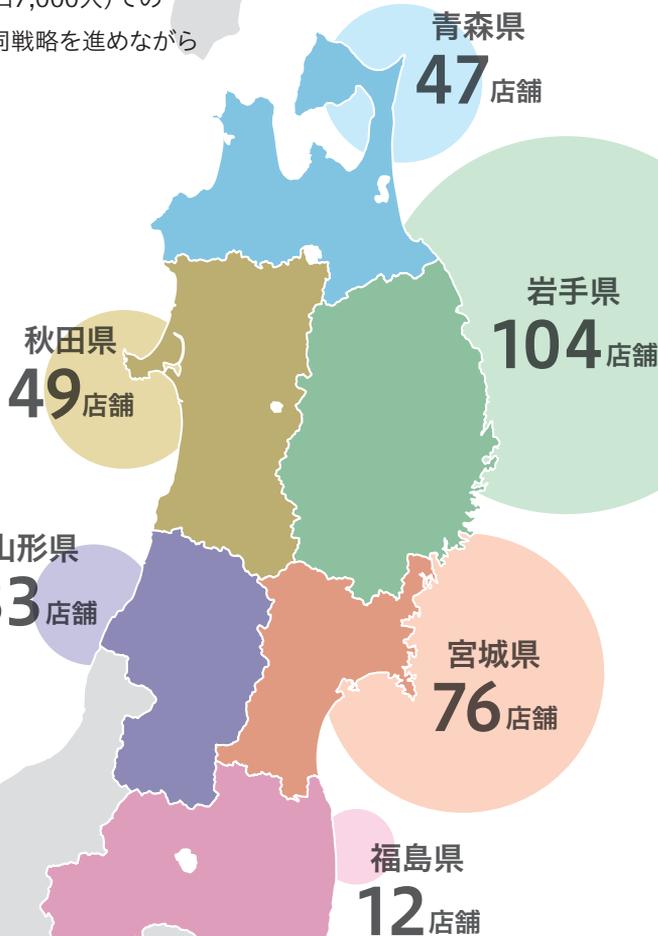
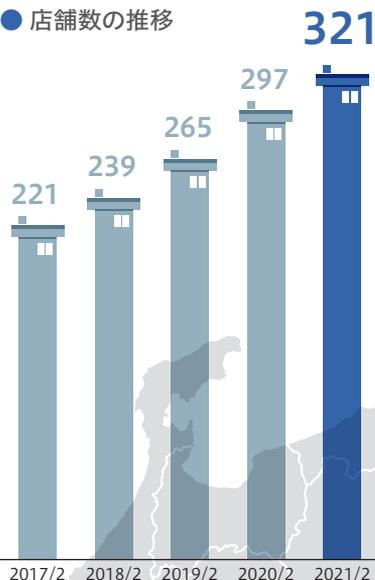
ドラッグストアの商圈人口は10,000人以上と言われる中、より身近でより多くの店舗を展開できる小商圈(人口7,000人)での出店戦略(ドミナント戦略)をとっています。今後も同戦略を進めながら地域でのシェアの拡大を図っていきます。

新規出店  
**27** 店舗  
※退店3店舗

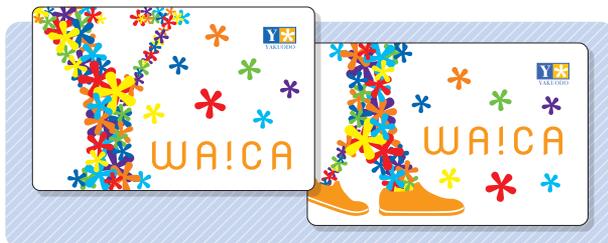
店舗数  
**321** 店舗  
2021年2月末

うち調剤併設型3店舗、  
調剤専門薬局2店舗

● 店舗数の推移



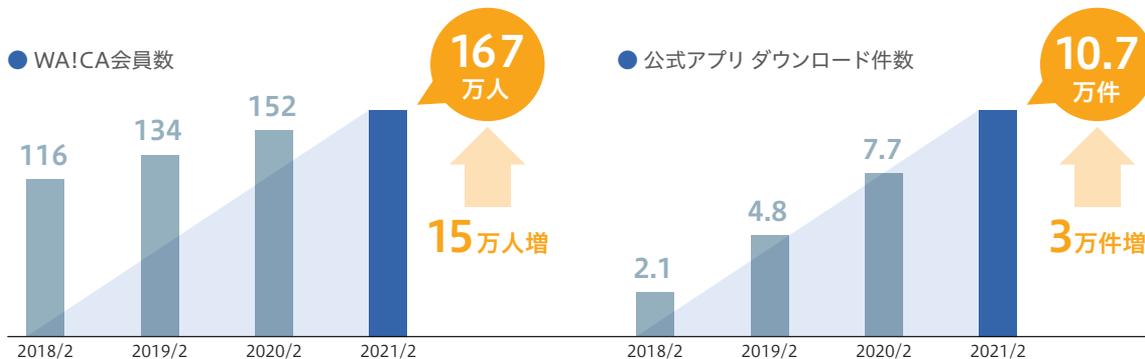
## 1. 「WA!CA」カードと公式アプリ



ポイントカード「WA!CA」の会員数の拡大に取り組み、累計のカード会員数は前期末より15万人会員数を伸ばし、167万人になりました。

プリペイド式の電子マネー機能付きという利便性に加え、買い物金額に応じて、シルバー、ゴールド会員にランクアップするステージ制の採用、お買い物時に3ポイントのボーナスがつく(1日1回限り)60歳以上限定の「おでかけカード」が好評で、会員数を伸ばしました。

また公式アプリのダウンロード数の拡大にも取り組み、累計のダウンロード件数は10万7千件となりました。店舗やチラシ検索が可能で、さらにお得なクーポンが配信されるという機能が好評でダウンロード件数を伸ばしました。また、機能やユーザビリティの向上を目的にアプリのリニューアルを実施しており、公式アプリでもWA!CA電子マネー決済が可能となりました。



## 2. くらしまるごと ALL WAY BASIC

• <https://allwaybasic.jp/>



東北に住む皆様のくらしをやすく、こちよく、支えるために生まれた薬王堂のプライベートブランド「ALL WAY BASIC (AWB)」。

第2期は、44アイテムを開発・発売しました。機能性食品の大麦若葉のすっきり青汁シリーズ、コロナ禍でニーズの高まった国産マスクの開発など新たな分野にも挑戦しています。

また、岩手県花巻市にある日本有数のワイナリー「エーデルワイン」様とワインを共同開発しました。「東北の食卓で気軽にみんなで飲めるワインが作りたい」というAWB開発担当の想いと、「良いワインは良い葡萄からしか生まれたい」というエーデルワイン様の強いこだわりの中で「かるやか赤ワイン」「すっきり白ワイン」の2商品が誕生しました。地産地消商品としても注目度が高く、幅広い客層のお客様にも喜ばれている商品です。



### 3. ピックアップ「Pick and」の立ち上げ

東北地方を『課題解決』先進地域にするべく、ピックアップアプリの立ち上げ準備をしました。重い食品や日用品を車まで運ぶ必要が無い、時代に即した非接触・非滞在型サービスです。5/10より、89店舗で実施中ですが、今後順次サービス店舗拡大予定です。



Pick and サービス開始!

アプリでご注文とお支払い、  
駐車場で受取可能!

注文して 来店して 受取り

注文から最短2時間で受け取れる

店内、もしくは駐車場で受け取れる

主な特徴

店頭と同じ価格・ポイントで買い物できる

### 4. キャッシュレス決済サービスの拡張

(2021年2月28日現在)

現金を使わずに支払いを済ませるキャッシュレス決済の取り扱いが拡大しています。当期はあらたに4つの決済サービスが追加されました。現在、バーコード決済、QR決済、電子マネー、クレジットカード、ポイントカードのほか、ギフトカード、おこめ券、ビール券もご利用が可能です。

NEW!

3/1より導入



J-Coin Pay

BP Bank Pay

QUICPay

Smart Code

d払い

WAON

Suica

Kitaca

PASMO

manaca

au PAY

nanaco

ICOCA

SUGOCA

nimoca

はやかけん HAYAKAKEN

R Edy

R Pay

QUOPay クオカードペイ

LINE Pay

PayPay

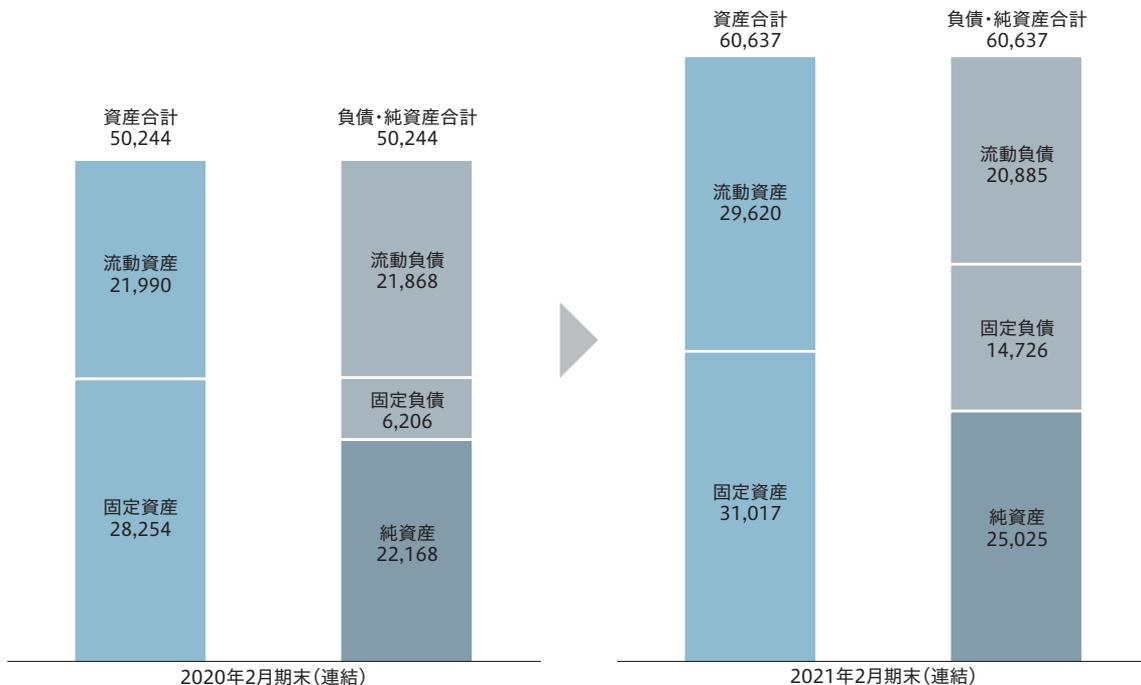
ゆうちょPay

m Pay

微信支付

支付宝 ALIPAY

## ● 財政状態の概要 (百万円)



## ● 財政状態のポイント

**流動資産**

流動資産は296億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ76億3千万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の増加、新規出店等に伴う商品の増加があげられます。

**固定資産**

固定資産は310億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億6千2百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加があげられます。

**流動負債**

流動負債は208億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8千3百万円減少しました。主な減少要因は、短期借入金の減少が14億円あったことがあげられます。

**固定負債**

固定負債は147億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億2千万円増加しました。主な増加要因は、長期借入金が79億6千万円増加したことがあげられます。

**純資産**

純資産合計は、250億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億5千6百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものです。

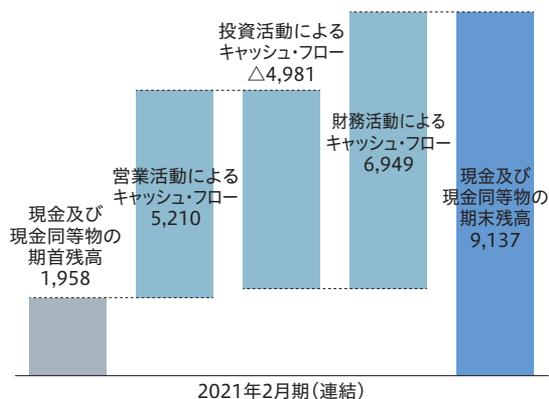
## ● 経営成績の概要 (百万円)



## ● 経営成績のポイント

販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、合計27店舗を新規出店し、3店舗を退店いたしました。以上の結果、売上高は1,105億3千5百万円、営業利益は49億7千6百万円、経常利益は53億6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は32億9千万円となりました。

## ● キャッシュ・フローの概要 (百万円)



## ● キャッシュ・フローのポイント

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は52億1千万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が46億8千2百万円、減価償却費が23億8千6百万円ありましたが、たな卸資産の増加額が27億1千万円あったこと等によるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

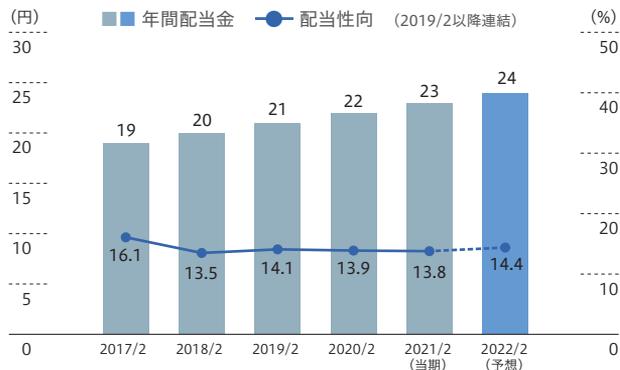
投資活動の結果使用した資金は49億8千1百万円となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が42億5千5百万円あったこと等によるものです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は69億4千9百万円となりました。これは、長期借入れによる収入が120億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が31億7千7百万円あったことや配当金の支払額が4億3千4百万円あったこと等によるものです。

## 配当実績と予想

当期の配当金は、前期から1円の増配となる1株当たり23円とさせていただきます。また、今期(2022年2月期)の配当金につきましては、1株当たり年間24円を予定しております。



## 株主優待制度

対象の株主様に対して、保有する株式数に応じて以下のとおり、薬王堂で利用できる当グループプリペイドカード「WA!CA」の電子マネーもしくは東北地方の特産品(お米)のいずれかを贈呈いたします。

### 薬王堂で利用できるプリペイドカード「WA!CA」

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	2,000円分
1,000株以上 3,000株未満	3,000円分
3,000株以上	5,000円分



初めて「WA!CA」をお持ちになる株主様  
予め相当分の電子マネー額をチャージした「WA!CA」を送付

既に「WA!CA」をお持ちいただいている株主様  
ご指定の「WA!CA」に相当分の電子マネー額をチャージ

### 東北地方の特産品(お米)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	3kg
1,000株以上 3,000株未満	5kg
3,000株以上	10kg

下記の銘柄よりいずれか1つをお選びいただけます。



岩手県産「ひとめぼれ」 宮城県産「ひとめぼれ」 青森県産「つがるロマン」 秋田県産「あきたこまち」 山形県産「つや姫」 福島県産「こしひかり」

※お米のパッケージは写真と異なる場合がございます。  
※東北地方の特産品の内容については、次回以降変更する場合がございます。

**株主優待の対象** 2021年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象に実施  
**贈呈時期及び方法** チャージ済み「WA!CA」は7月下旬、お米は10月下旬～11月中旬の発送を予定  
お手持ちの「WA!CA」へのチャージは7月14日(水)を予定

## ● 会社概要 (2021年2月28日現在)

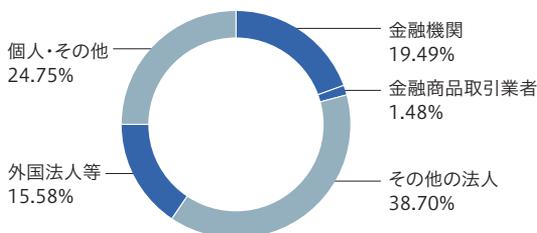
社名	株式会社薬王堂ホールディングス
所在地	岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第3地割426番地
代表者	代表取締役社長 西郷辰弘
設立	2019年9月2日
資本金	100百万円
売上高	110,535百万円
店舗数	321店舗
従業員	社員862名、臨時社員2,176名(8時間換算)
事業内容	ドラッグストアチェーンの経営ならびに調剤薬局経営

## ● 役員 (2021年5月26日現在)

代表取締役社長	西郷 辰弘
代表取締役副社長	西郷 喜代子
常務取締役 管理部長	小笠原 康浩
常務取締役 経営戦略部長	西郷 孝一
社外取締役	小原 公一
社外取締役	片野 圭二
社外取締役	栗岡 大介
常勤監査役	坂本 篤
社外監査役	下河原 勝
社外監査役	鎌田 英樹

## ● 株式情報 (2021年2月28日現在)

発行可能株式総数	61,200,000株
発行済株式の総数	19,740,219株 (自己株式数0株)
株主数	9,400名



## ● 大株主 (2021年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社TKコーポレーション	7,584,000	38.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,194,400	11.12
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	780,000	3.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	737,800	3.74
薬王堂ホールディングス従業員持株会	664,800	3.37
西郷 辰弘	498,000	2.52
西郷 喜代子	498,000	2.52
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	320,930	1.63
BBH FOR GRANDEUR PEAK GLOBAL OPPORTUNITIES FUND	305,700	1.55
BBH FOR GRANDEUR PEAK INTERNATIONAL OPPORTUNITIES FUND	250,200	1.27

## ● 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から毎年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
利益配当金	毎年2月末日
受領株主確定日	その他必要がある場合は予め公告し基準日を定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社薬王堂ホールディングス

<https://www.yakuodo-hd.co.jp>

〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第3地割426番地

電話:019-697-8480

